

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 5 月 27 日(2022.5.27)

【公開番号】特開 2021-97942(P2021-97942A)
【公開日】令和 3 年 7 月 1 日(2021.7.1)
【年通号数】公開・登録公報 2021-029
【出願番号】特願 2019-232094(P2019-232094)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 9 9

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 5/04 6 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 19 日(2022.5.19)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

第 1 の制御基板と、

第 2 の制御基板と、

第 1 の制御基板を収納する第 1 の基板ケースと、

第 2 の制御基板を収納する第 2 の基板ケースと

を備え、

30

第 1 の制御基板には、演算機能を有する所定の電子部品が実装され、

前記所定の電子部品の表面には、第 1 の二次元コードが印刷され、

第 1 の基板ケースの表面には、第 2 の二次元コードが印刷されたシールが貼り付けられ、

第 1 の二次元コードの色と前記所定の電子部品の表面の色とのコントラストを、第 2 の二

次元コードの色と前記シールの背景の色とのコントラストよりも小さくすることで、第 1

の二次元コードは、第 2 の二次元コードより、読み取りにくく構成されており、

第 2 の制御基板には、第 1 のコネクタが設けられ、

第 2 の基板ケースにおける第 1 のコネクタに対応する位置には、第 1 のコネクタを第 2 の

基板ケースの外部に露出させる開口部が設けられ、

第 2 の基板ケースにおける前記開口部の近傍の所定の壁部には、第 1 の空気孔が設けられ

40

、

第 1 のコネクタに接続される第 2 のコネクタと、

第 2 のコネクタに接続されるリード線と

を備え、

第 1 のコネクタと第 2 のコネクタとが接続された状態において、第 2 の制御基板の実装面

から第 1 の空気孔の下端までの高さは、第 2 の制御基板の実装面から第 1 のコネクタの上

端までの高さより低く構成されており、

第 1 のコネクタと第 2 のコネクタとが接続された状態において、第 2 の制御基板の実装面

から第 1 の空気孔の上端までの高さは、第 2 の制御基板の実装面から前記リード線の下端

位置（前記リード線と第 2 のコネクタ上端との境目を指す。）までの高さより高く構成さ

50

れており、

第 2 の基板ケースにおいて、前記所定の壁部と反対側の特定の壁部には、第 2 の空気孔が設けられており、

第 1 のコネクタと第 2 のコネクタとが接続された状態において、第 1 のコネクタと第 2 のコネクタはロック機構により係合されるよう構成されており、

前記ロック機構は、第 1 の空気孔と対向する第 1 のコネクタ及び第 2 のコネクタの側面と反対側の側面に位置している

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。)

本発明（第 29 実施形態及び第 30 実施形態）は、

第 1 の制御基板（メイン制御基板 530）と、

第 2 の制御基板（サブ制御基板 540）と、

第 1 の制御基板を収納する第 1 の基板ケース（基板ケース 550）と、

第 2 の制御基板を収納する第 2 の基板ケース（基板ケース 700）と

を備え、

第 1 の制御基板には、演算機能を有する所定の電子部品（メイン CPU 530g）が実装され、

前記所定の電子部品の表面には、第 1 の二次元コード（二次元コード 530j）が印刷され、

第 1 の基板ケースの表面には、第 2 の二次元コード（二次元コード 551a）が印刷されたシール（管理シール 551）が貼り付けられ、

第 1 の二次元コードの色と前記所定の電子部品の表面の色とのコントラストを、第 2 の二次元コードの色と前記シールの背景の色とのコントラストよりも小さくすることで、第 1 の二次元コードは、第 2 の二次元コードより、読み取りにくく構成されており、

第 2 の制御基板には、第 1 のコネクタ（基板側コネクタ 540b）が設けられ、

第 2 の基板ケースにおける第 1 のコネクタに対応する位置には、第 1 のコネクタを第 2 の基板ケースの外部に露出させる開口部（開口部 716c）が設けられ、

第 2 の基板ケースにおける前記開口部の近傍の所定の壁部（側面部 716b）には、第 1 の空気孔（空気孔 716d）が設けられ、

第 1 のコネクタに接続される第 2 のコネクタ（ハーネス側コネクタ 730b）と、

第 2 のコネクタに接続されるリード線（リード線 730a）と

を備え、

第 1 のコネクタと第 2 のコネクタとが接続された状態において、第 2 の制御基板の実装面から第 1 の空気孔の下端までの高さは、第 2 の制御基板の実装面から第 1 のコネクタの上端までの高さより低く構成されており、

第 1 のコネクタと第 2 のコネクタとが接続された状態において、第 2 の制御基板の実装面から第 1 の空気孔の上端までの高さは、第 2 の制御基板の実装面から前記リード線の下端位置（前記リード線と第 2 のコネクタ上端との境目を指す。）までの高さより高く構成されており、

第 2 の基板ケースにおいて、前記所定の壁部と反対側の特定の壁部（上側壁 712）には、第 2 の空気孔（空気孔 716d）が設けられており、

第 1 のコネクタと第 2 のコネクタとが接続された状態において、第 1 のコネクタと第 2 のコネクタはロック機構により係合されるよう構成されており、

10

20

30

40

50

前記ロック機構は、第 1 の空気孔と対向する第 1 のコネクタ及び第 2 のコネクタの側面と反対側の側面に位置している
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50